



野鳥 コチドリ

全長：全長16cm、スズメ大で黄色い足、目のまわりに黄色い輪。九州以北の河原、海岸、干拓地で夏鳥（南日本では冬を越すものもあり、南西諸島では冬鳥）。小石や砂の地上で繁殖する。

とうめい news

2021.8.1
Vol.240

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者：河野 昌史
編集責任者：和田 博貴
印刷：(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

漢方医学と漢方外来のご紹介

漢方外来：野上 達也

こんにちは、月2回第2・第4土曜日の午前中に漢方外来を担当している野上です。県立厚木高校から「東西医学の融合」を建学の理念に掲げる富山大学に進学し、漢方医学と内科学（総合内科・リウマチ膠原病内科）を学び、昨年神奈川に戻って参りました。今回は私の専門とする漢方医学をご紹介します。

漢方医学とは何か

漢方医学は、古代中国から伝わり、日本の気候や風土などの影響を受けて発達した我が国の伝統医学です。江戸時代に輸入されたオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対し、中国由来の当時の日本の医学を「漢方」と呼んだとされています。漢方医学では現代医学とは異なる独特の診療体系に基づいて診療を行います。治療には漢方薬と鍼灸を用いますが、残念ながら現在日本では制度上、鍼灸を保険医療機関で行うことは困難です。

漢方薬について

漢方薬とは薬効のある動植物や鉱物などを加工した「生薬」を漢方理論に基づいて組み合わせたものです。元々は細かく刻んだ生薬を煎じたり（煎剤）、そのまま服用したり（散剤）、蜜などで粒状にしたりして（丸剤）用いていました。日本では今でも生薬を保険診療で処方する事ができます。しかし、今日では生薬エキスを抽出し顆粒、細粒にした「エキス製剤」が広く普及しており、漢方薬というとこれを思い浮かべる方が多いと思います。現在、日本では147種類の漢方エキス製剤と1剤の漢方軟膏製剤を保険診療で用いることができます。

漢方薬を服用するときの注意

「漢方薬は副作用がなく安全」というイメージがあると思いますが、これは誤りです。漢方薬にも副作用

は存在します。甘草（カンゾウ）、黄芩（オウゴン）は特に副作用に注意が必要な生薬です。西洋薬との相互作用にも注意が必要で、特に利尿薬やステロイドとの併用は慎重に行わなくてはなりません。安全に漢方薬を用いるためには、定期的な診察や検査が重要です。

漢方エキス製剤は通常『食前服用』が指示されますが、飲み忘れた場合は『食後服用』でも結構です。顆粒、細粒製剤が飲みにくい場合にはゼリーやオブラートを用いるとよいと思います。味が苦手な子供にはアイスクリームやコンデンスミルクなどと一緒に飲ませることもあります。

漢方医学的な診察方法

漢方医学では現代医学とは異なる診察を行います。容貌、手足の脈、舌の色や形、お腹の様子などが体にあった漢方薬を選ぶための重要なカギとなります。受診する際には化粧は控え、両手足と腹部が診察しやすい服装をお願いします。

漢方外来について

漢方外来では、伝統的な手法を用いた『漢方医学』を実践するのはもちろんのこと、『現代医学』的な診療も行います。高血圧症や脂質異常症のように西洋薬の方が明らかに有用な病気もありますので、『漢方医学』・『現代医学』を適宜組み合わせる最善の治療を提供することを心がけております。『現代医学』的診断がつかない症状や標準的治療の効果が乏しい症状（倦怠感、イライラ、冷え、のぼせ、めまい、痛み、しびれなど）でお困りのことがありましたら気軽にご相談ください。なお、私は日本リウマチ学会のリウマチ専門医でもありますので、関節リウマチや膠原病の診療も行っています。

